

令和 7 年度に実施した主な取組

令和 7 年度に実施した奈良のシカ保護管理計画に係る主な取組について、以下にまとめた。これらの結果については、関連するワーキンググループにおいて報告・検討した。

1. 保護計画に関する取組

- 県立都市公園条例施行規則第 12 条に基づく禁止行為への「奈良のシカ」への加害行為の規定
- 「奈良のシカ」の保護に関する基本方針（案）の検討
- 生息環境の改善に関連する、シバ地の保全再生実施方針の検討、堅果類の結実状況調査の実施
- D地区の市街地に出没するシカの追い上げの実施及び捕獲と捕獲後の体制等の検討
- 保護地区（春日山）の生息密度推定（中央値 15.5 頭/km²、95%信用区間 6.1～49.4 頭/km²）
※推定値は過小評価の可能性がある

2. 管理計画に関する取組

- 防鹿柵の新規設置（奈良阪町：延長 594.6m）
- 過年度設置防鹿柵の効果検証（奈良阪町）
- 効果検証の結果必要とされた防鹿柵の機能強化策の検討、実施（奈良阪町）
- 農業被害軽減のための加害個体捕獲の上限を 450 頭に拡大して実施
→ 上限：450 頭、実績：450 頭（令和 6 年度は上限、実績ともに 225 頭）
- 生息状況調査（糞粒法調査）の実施
→ D 地区全体の平均生息密度は 49.0 頭/km²となった
- C 地区（川上町）の農業被害対策の検討、実施

3. 鹿苑のあり方に関する取組

- 鹿苑のあり方計画（令和 8 年 3 月版）の検討
- 一時収容の基準（案）の検討
- 鹿苑のあり方等検討部会及び関連 WG の見直し